

自然の中で豊かな心とたくましい体づくり

社会教育課



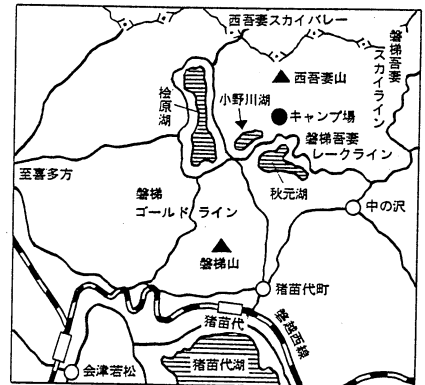
助け合い励まし合ったアドベンチャーの仲間たち

はじめに

「自然に挑戦！フロンティア・アドベンチャー」事業は、自然環境の中で
の原生活体験を通じて子どもたちの豊
かな心とたくましい体を育てるため、
本年度から県教育委員会の新規事業と
して始めたものです。

子どもたちが自然の中で遊ばなくな
ってから久しくなりますが、心身共に
健康に育つためには、人や自然との触
れ合いは極めて大切なことであります。
近年の科学技術の進歩や情報化・都
市化の進展は、子どもたちの生活に物
質的な豊かさや便利さをもたらした反
面、自然との触れ合いや仲間との切磋
琢磨の機会を少なくし、それに伴い、
物事に対して感動する心や困難に耐え

図1 キャンプ地の位置



たり、自己の限界に挑戦したり、さら
には、他人を思いやり仲間と協調する
心などが薄れているといわれています。
そこで、自然の中で長期にわたり自
給自足の生活をし、ホームシックや
カルチャーショックに耐え、自分の日
常生活を振り返りながら心の豊かさや
たくましさを培い、明日を生き抜く力
を身に付けさせることを目的として、
このアドベンチャーキャンプを実施し
ました。

以下、耶麻郡北塩原村小野川（裏磐
梯）・郡山少年自然の家（二十四日の
み）で実施した概要を紹介します。

一、アドベンチャーキャンプのねらい

(一) 出会い・触れ合い・助け合い・生
の体験

今回のキャンプの目的は、「現代の
子どもたちに失われつつある生活体験
及び自然体験を、大自然の中での長期

にわたる自給自足の生活を通して体
験させ、豊かな心やたくましい体を育
てる」という点に置いた。キャンプに
はさまざまな内容と方法があるが、今
回の長期のキャンプでは、これまで行
われてきたような二泊三日程度のキャ
ンプのイメージを取り払って指導に臨
むこととし、指導上の留意点として、
「出会い・触れ合い・助け合い・生の
体験」をさせることを中心に実施する
ことにした。

(二) プログラムとねらい
このキャンプで「出会い・触れ合
い・助け合い・生の体験」を具体的に
体験させるための指導方法とプログラ
ムは表1の通りである。

二、キャンプを実施するにあたって

九泊十日という長期のキャンプは、
県内でも初めての試みであり、推進会
議、指導者研修会、事前打合せ会等を
何度も開催した上で実施した。

(一) 青少年自然体験活動推進会議
学識経験者、青少年団体関係者、医
療関係者、少年自然の家職員、学校教
育関係者等による十二名で構成し、全
体計画の策定、関係機関・団体等の連
絡調整、キャンプの円滑な運営と安全
の確保等に万全を期するとともに、事
業成果の波及に努めることとした。

(二) 青少年自然体験推進指導者研修会
事前踏査・調査を兼ねた指導者研修
会を次の通り実施した。